

# 令和6年度 ビジネス科 1年 シラバス

現代の国語

公共

地理総合（三修制）

数学Ⅰ

地学基礎

生物基礎（三修制）

保健

体育

体育（三修制）

英語コミュニケーションⅠ

ビジネス基礎

情報処理

令和6年度 シラバス ( 現代の国語 )

教科	国語	単位数	2	学年(年次)	1年
使用教科書	新編現代の国語(東京書籍)		副教材等	国語便覧(大修館書店)・常用漢字の級別学習(京都書房)	

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	自己を見つめる ・こそめスープ  ・ルリボシカミキリの青  他者に出会う ・未来をつくる想像力	・筆者の思いの変化に注意しながら、本文を通読し、叙述を基に的確に内容を捉え、筆者の考え方を読み取る。 ・語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、文章の種類を踏まえて要旨や要点を把握する。  ・評論を読んでその内容を的確に理解し、筆者の考えを読み取る。
	・水の東西  言葉と生活1 ・異なる種類の文書を読み比べよう	・評論の書かれ方を適切に理解し、表現に即して読み取る。  ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。
後期	視野を広げる ・スキマが育む都市の緑と生命のつながり  社会と関わる ・鍋洗いの日々	・「都市部のスキマ」と「都市部の公園」の違いを、生態系に果たす役割という観点を押さえながら読み取り、整理する。  ・本文に登場する語句を理解し、叙述を基に論理の展開を捉え、要点や要旨を把握する。
	言葉と生活2 ・新聞記事を読んで意見文を書こう  世界とつながる ・美しさの発見  未来に目を向ける ・真の自立とは	・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、説明や表現の仕方を工夫する。  ・文章や図表に含まれている情報を相互に関連付けながら、書き手の意図を解釈する。  ・文章の大意を理解し、本文に述べられた事柄について、考えを深めることができる。

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【評価方法】

定期テスト、提出物(ノートやレポートなど)、授業態度、漢字検定へ向けた取り組み姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。

令和6年度 シラバス ( 公共 )

教科	公民	単位数	2	学年 (年次)	1年
使用教科書	高等学校 公共 (帝国書院)		副教材等	なし	

1 科目の目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	第1部 1章 1節 青年期と社会参画 第1部 1章 2節 宗教・思想・伝統文化と社会 第1部 2章 1節 倫理的な見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年期における自己と社会のあり方の理解,自らのキャリア形成について理解する。</li> <li>・社会を形成する伝統や文化, 宗教, 考え方などへの理解や自らの価値観や他者の価値観を形成する背景や要因について理解する。</li> <li>・先哲の考え方の理解に基づき, 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や, 行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。</li> </ul>
	第1部 3章 1節 社会の基本原則と憲法の考え方 第2部 1章 1節 法の意義と司法参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の考え方の理解に基づき, 人間の尊厳と平等, 協働の利益と社会の安定等の大切さ, 公共的な空間に生じる課題を探究することの大切さ等について理解する。</li> <li>・法の基本的な考え方に関する正確な理解に基づき, 法の意義や司法参加について関心を高める。</li> </ul>
後期	第2部 2章 1節 民主社会と政治参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見や利害を調整するという政治の意義や統治機構のしくみの正確な理解に基づき, 政治参加と公正な世論の形成, 地方自治等について理解する。</li> </ul>
	第2部 2章 2節 国際政治の動向と平和の追求  第2部 3章 1節 市場経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国家主権や国際法によって成立する国際社会の正確な理解に基づき, 国家主権, 領土, 我が国の安全保障と防衛, 国際社会における我が国の役割などについて理解する。</li> <li>・公正かつ自由な経済活動が行われる社会を構成するための取り組みについて市場経済の機能と限界, 金融の動き, 財政及び租税の役割について理解する。</li> </ul>
	第2部 3章 2節 豊かな社会の実現  第2部 3章 3節 国際経済の動向と格差の是正  第3部 持続可能な社会の実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化する産業構造と労働のあり方, 社会保障の意義と課題, 国民福祉の向上, 職業選択, 雇用と労働問題, 少子高齢社会における社会保障の役割といった諸問題について理解する。</li> <li>・貧困や格差のないよりよい国際社会の形成に向けた取り組みについて経済のグローバル化と相互依存の深まり, 国際社会における貧困や格差の問題などについて理解する。</li> <li>・地域の創造, よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し, 共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだす。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○現代の諸課題を捉え考察し, 選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに, 諸資料から, 倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	○現実社会の諸課題の解決に向けて, 事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり, 合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	○よりよい社会の実現を視野に, 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり, 思考力, 判断力, 表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。

【評価方法】

- ・定期考査にて, 出題範囲における知識と技能の習得の状況, 思考力・判断力・表現力を評価する。
- ・学習活動の様子や発表, 討論, 論述などの内容を評価のための資料とする。

令和6年度 シラバス (地理総合)

教科	地理歴史	単位数	2	学年(年次)	1年(三修制)
使用教科書	高等学校 新地理総合(帝国書院)		副教材等	新詳高等地図(帝国書院)	

1 科目の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	第1部 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結び付きを深める現代世界 第2部 第1章 生活文化の多様性と国際理解 1節世界の地形と人々の生活 2節世界の気候と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。</li> <li>現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。</li> <li>世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</li> </ul>
	追求事例 自然1・2 3節世界の言語・宗教と人々の生活 追求事例 宗教1・2 4節歴史的背景と人々の生活 追求事例 歴史1・2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>オセアニア・東南アジアの地形・気候などの地理的特色からどのような生活文化が営まれてきたのか理解する。</li> <li>言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのかについて、イスラームやヒンドゥー教を基に考察する。</li> <li>歴史的な背景は、人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのか、移民・植民地支配・国家体制の変化などの観点から考察する。</li> </ul>
後期	5節世界の産業と人々の生活 追求事例 産業1・2・3 第2章地球の課題と国際協力 1節複雑に絡み合う地球の課題 2節地球環境問題 3節資源エネルギー問題 4節人口問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えたのか、また、産業のグローバル化によって、人々の生活はどのように変化したのかアメリカ、東アジア、EUなどを例に考察する。</li> <li>世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球の課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。</li> </ul>
	5節食糧問題 6節都市・居住問題 第3部持続可能な地域づくりと私たち 第1章自然環境と防災 第2章生活権の調査と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</li> <li>生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察する。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。 ○地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

【評価方法】

- ・定期考査にて、出題範囲における知識と技能の習得の状況、思考力・判断力・表現力を評価する。
- ・学習活動の様子や発表、討論、論述などの内容を評価のための資料とする。

令和6年度 シラバス ( 数学 I )

教科	数学	単位数	2	学年 (年次)	1年
使用教科書	新 高校の数学 I (数研出版)		副教材等	なし	

1 科目の目標

数と式、2次関数について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	第1章 数と式 第1節 数と式の計算 1. 計算の基本 2. 単項式と多項式 3. 多項式の加法と減法 4. 多項式の乗法	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な四則計算や分数の計算、計算の優先順位を理解して計算する。</li> <li>文字を使った式の表し方の約束、単項式や多項式、次数、同類項について理解する。</li> <li>多項式の加法、減法の計算をする。</li> <li>指数法則を理解して、単項式の乗法の計算をする。</li> <li>指数法則や分配法則を用いて、多項式の乗法の計算をする。</li> </ul>
	5. 展開の公式 6. 因数分解 7. 展開、因数分解の工夫 8. 根号を含む式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式を利用して式の展開をする。</li> <li>因数分解のいろいろな方法を理解して、因数分解を行う。</li> <li>文字のおきかえを利用して、展開や因数分解をする。</li> <li>平方根の意味を理解して、根号を含む式の加法、減法、乗法の計算をする。</li> <li>分母の有理化について理解して計算する。</li> </ul>
後期	9. 実数 第2節 1次不等式 1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の解	<ul style="list-style-type: none"> <li>実数を数直線上の点の座標として考察する。</li> <li>方程式における解の意味を理解し、1次方程式を解く。</li> <li>不等号の意味を理解して、数量の大小関係を式で表現する。</li> <li>不等式が範囲を表すことを理解し、それを数直線上に表す。</li> <li>不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解く。</li> <li>連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解く。</li> </ul>
	第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ 1. 関数 2. 1次関数のグラフ 3. 2次関数のグラフ(1) 4. 2次関数のグラフ(2) 第2節 2次関数の値の変化 1. 2次関数の 最大値、最小値	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数について理解し、関数の値を求める。</li> <li>座標について理解する。</li> <li>傾きと切片に着目して、1次関数のグラフをかく。</li> <li>放物線の形や軸、頂点について理解する。</li> <li><math>y=ax^2</math>のグラフなどいろいろな2次関数のグラフをかく。</li> <li><math>ax^2+bx+c</math>を<math>a(x-p)^2+q</math>の形に変形する。</li> <li>平方完成を利用して<math>y=ax^2+bx+c</math>のグラフをかく。</li> <li>2次関数が最大値、最小値をもつことを理解して求める。</li> <li>定義域に制限があるときの最大値、最小値を求める。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数と式、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力を身につけている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

【評価方法】

定期考査や小テスト、平常の学習活動、学習プリントやノートなどの提出物を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。

令和6年度 シラバス (地学基礎)

教科	理科	単位数	2	学年(年次)	1年
使用教科書	地学基礎(東京書籍)		副教材等	なし	

1 科目の目標

地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	1編 私たちの大地 第1章 大地とその動き 第2章 火山活動と地震  2編 私たちの海と空 第1章 地球の熱収支	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震や地殻変動などの原因をプレートの動きで説明できることを理解する。</li> <li>プレートの境界は3つに分けられることを知る。</li> <li>マグマが噴火するしくみについて知る。</li> <li>地球の熱収支は、地球全体で見るとつり合っていることを理解する。</li> </ul>
	第2章 大気と海水の運動  3編 私たちの宇宙の誕生 第1章 宇宙の構造と進化	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気と海洋の流れにはどのような流れがあるかまとめ、関連性を見いだす。</li> <li>宇宙が誕生してからどのような過程を経て現在の状態になったのか整理し理解する。</li> <li>地球の特徴を整理し、なぜ、地球で生命が生まれ、繁栄できたのかを理解する。</li> </ul>
後期	4編 私たちの地球の歴史 第1章 地層と化石の観察 第2章 古生物の変遷と地球環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>地層の形成について、地層のでき方や堆積物の形成のしくみを理解する。</li> <li>地質年代の区分について理解する。</li> <li>それぞれの地質時代について、地球環境とその環境下における生物の特徴を整理する。</li> <li>人類の進化の道筋について理解する</li> </ul>
	5編 地球に生きる私たち 第1章 日本の自然の恵みと防災  終章 地球環境の考え方 自然環境の変動 これからの地球環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島は暖流と寒流が出合う場所に位置し、水産資源が豊富であることを理解する。</li> <li>自然現象は「時間スケール」と「空間スケール」で見ることができていることを理解する。</li> <li>化石燃料に代わるエネルギーとして、再生可能エネルギーや代替エネルギーとして水素エネルギーなどがあることを理解する。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れの中で捉えるなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。
<p><b>【評価方法】</b> 定期考査や小テスト、平常の学習活動、ノートなどの提出物を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和6年度 シラバス (生物基礎)

教科	理科	単位数	2	学年(年次)	1年(三修制)
使用教科書	生物基礎(東京書籍)		副教材等	なし	

1 科目の目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	1編 生物の特徴 第1章 生物の多様性と 共通性 第2章 生物とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球上で生活する生物の多様性は、進化の結果生じたものであることを理解する。</li> <li>真核細胞の構造について理解する。</li> <li>酵素の基本的な特徴を理解する。</li> <li>呼吸におけるグルコースの分解反応について理解する。</li> <li>光合成は、ATPの合成から始まることを理解する。</li> </ul>
	2編 遺伝子とそのはたらき 第1章 遺伝情報とDNA 第2章 遺伝情報と タンパク質の合成	<ul style="list-style-type: none"> <li>結合する塩基に相補性があることを理解する。</li> <li>シャルガフの規則をもとに、塩基の割合を計算する。</li> <li>タンパク質はアミノ酸がつながった分子であることを理解する。</li> <li>DNAの遺伝情報は、まずmRNAに転写された後、アミノ酸に翻訳されることで発現するという流れを理解する。</li> </ul>
後期	3編 ヒトの体の調節 第1章 ヒトの体を調節する しくみ 第2章 免疫のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>体内環境と体液の関係について理解する。</li> <li>日常の場面から交感神経と副交感神経の作用について考える。</li> <li>免疫のしくみにおける白血球のはたらきについて理解する。</li> <li>免疫記憶と二次応答について理解する。</li> <li>予防接種のしくみを理解する。</li> </ul>
	4編 生物の多様性と生態系 第1章 植生と遷移 第2章 生態系と生物の多 様性	<ul style="list-style-type: none"> <li>植生の遷移についてモデル的な過程に基づいて理解する。</li> <li>世界のバイオームについて、気候や構成する生物種を知る。</li> <li>生産者・消費者・分解者の関係を、食物網と生態ピラミッドに関連付けて理解する。</li> <li>生物多様性の保全にはそれぞれの立場からの努力や協力が必要であることを理解する。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。
<p><b>【評価方法】</b> 定期考査や小テスト、平常の学習活動、ノートなどの提出物を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和6年度 シラバス (保健)

教科	保健体育	単位数	1	学年(年次)	1年
使用教科書	新高等保健体育	副教材等		新高等保健体育ノート	

1 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	中間 第1章 現代社会と健康 ・健康の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康水準や疾病構造の変化には社会の状況が関わっていること、健康の成立には様々な要因が関わっていることを理解する。</li> <li>ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。</li> <li>意思決定・行動選択は様々な要因により影響を受けることを理解する。</li> </ul>
	期末 ・現代の感染症とその予防 ・生活習慣病などの予防と回復	<ul style="list-style-type: none"> <li>新興感染症や再興感染症の発生や流行の現状とその理由、感染症予防の三原則について理解する。</li> <li>性感染症・エイズの現状と今後の課題、性感染症の予防に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。</li> <li>生活習慣病の予防や回復のために必要な個人および社会の取り組みについて理解する。</li> <li>身体活動・運動、食事、休養・睡眠と健康の関係について理解する。</li> <li>がんには様々な種類があることやがんの発生要因、がんの予防や回復のために必要な個人および社会の取り組みについて理解する。</li> </ul>
後期	中間 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・精神疾患の予防と回復	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙、飲酒、薬物乱用による健康への影響、健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。</li> <li>代表的な精神疾患の特徴や症状、精神疾患の発症や回復のポイント、精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解する。</li> <li>心の健康社会の実現を目指した取り組みの重要性について理解する。</li> </ul>
	期末 第2章 安全な社会生活 ・安全な社会づくり ・応急手当	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故防止には個人の取り組みと交通環境の整備が必要であること、交通事故には補償など法的責任が生じることを理解する。</li> <li>応急手当、心肺蘇生法の意義とその手順や方法を身につける必要性について理解する。</li> <li>日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法、熱中症の予防および基本的な応急手当の方法を理解する。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
<p>【評価方法】</p> <p>定期考査や平時の学習活動、ノートなどの提出物を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		



令和6年度 シラバス ( 体育 )

教科	保健体育	単位数	2	学年 (年次)	1年
使用教科書	新高等保健体育		副教材等	新高等保健体育ノート	

1 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成すること。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	体づくり運動 球技 (バレーボール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>心と体は互いに影響し変化することに気付き、仲間と自主的に関わりあうことができる。</li> <li>役割に応じたボール操作ができる。</li> <li>味方や相手側のコートのねらった場所にボールをつないだり打ち返したりすることができる。</li> <li>攻防などの自己やチームの課題を発見することができる。</li> <li>技能の習得に自主的に取り組むことができる。</li> <li>互いに助け合い、健康・安全を確保することができる。</li> <li>フェアプレイを大切にしようすることができる。</li> </ul>
	球技 (バスケットボール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定したボール操作と空間を作り出す動きができる。</li> <li>合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫できる</li> <li>連携した動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開することができる。</li> <li>攻防などの自己やチームの課題を発見することができる。</li> <li>自主的に取り組むことができる。</li> <li>互いに助け合い、健康・安全を確保することができる。</li> <li>フェアプレイを大切にしようすることができる。</li> </ul>
後期	球技 (バドミントン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールの返球に対応して安定した用具の操作ができる。</li> <li>相手側のコートのねらった場所にボールをつないだり打ち返したりすることができる。</li> <li>技能の習得に自主的に取り組むことができる。</li> <li>攻防などの自己やチームの課題を発見することができる。</li> <li>互いに助け合い、健康・安全を確保することができる。</li> <li>フェアプレイを大切にしようすることができる。</li> </ul>
	陸上競技 (長距離走) 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己に適したペースを維持して走ることができる。</li> <li>体力の高め方を理解することができる。</li> <li>動きなどの自己や仲間の課題を発見することができる。</li> <li>陸上競技に自主的に取り組むことができる。</li> <li>健康・安全を確保することができる。</li> <li>現代のスポーツの意義や価値を理解できる。</li> <li>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができる。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の取り組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>平時の学習活動、実技における技能の習得、学習プリント等を上記の3つの観点から評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和6年度 シラバス ( 体育 )

教科	保健体育	単位数	1	学年 (年次)	1年(三修制)
使用教科書	新高等保健体育		副教材等	新高等保健体育ノート	

1 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成すること。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	体づくり運動 球技 (ソフトボール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>心と体は互いに影響し変化することに気付き、仲間と自主的に関わりあうことができる。</li> <li>タイミングを合わせてボールを捉え、ねらった方向にボールを打ち返すことができる。</li> <li>ねらった方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げることができる。</li> <li>技能の習得に自主的に取り組むことができる。</li> <li>攻防などの自己やチームの課題を発見することができる。</li> <li>互いに助け合い、健康・安全を確保することができる。</li> <li>フェアプレイを大切にしようとするすることができる。</li> </ul>
	球技 (ソフトテニス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールの返球に対応して安定した用具の操作ができる。</li> <li>相手側のコートにねらった場所にボールをつないだり打ち返したりすることができる。</li> <li>技能の習得に自主的に取り組むことができる。</li> <li>攻防などの自己やチームの課題を発見することができる。</li> <li>互いに助け合い、健康・安全を確保することができる。</li> <li>フェアプレイを大切にしようとするすることができる。</li> </ul>
後期	球技 (卓球)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールの返球に対応して安定した用具の操作ができる。</li> <li>相手側のコートにねらった場所にボールをつないだり打ち返したりすることができる。</li> <li>技能の習得に自主的に取り組むことができる。</li> <li>攻防などの自己やチームの課題を発見することができる。</li> <li>互いに助け合い、健康・安全を確保することができる。</li> <li>フェアプレイを大切にしようとするすることができる。</li> </ul>
	陸上競技 (長距離)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己に適したペースを維持して走ることができる。</li> <li>体力の高め方を理解することができる。</li> <li>動きなどの自己や仲間の課題を発見することができる。</li> <li>陸上競技に自主的に取り組むことができる。</li> <li>健康・安全を確保することができる。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の取り組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

【評価方法】

平時の学習活動、実技における技能の習得、学習プリント等を上記の3つの観点から評価したものと出席状況により総合的に評価します。

令和6年度 シラバス (英語コミュニケーションⅠ)

教科	英語	単位数	2	学年(年次)	1年
使用教科書	FLEX ENGLISH COMMUNICATION I		副教材等	高校英語の基礎づくり ブレイクイングリッシュ[4訂版]	

1 科目の目標

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、言語の背景などを学び、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場所、状況などに応じて適切に英語を活用できる技能を身に付ける。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	中間 LESSON 1 How Can We Become Stronger? LESSON 2 The Jar of Life ブレイクイングリッシュ 1-6	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入となる質問に答え、レッスンのトピックに関心や興味を持つ。</li> <li>語句の意味を理解し、発音できるようにする。</li> <li>本文の内容を理解する。</li> <li>「助動詞」「to+不定詞」「動名詞」「関係疑問文」の表現を理解する。</li> <li>自分なりのフレーズを考え、そこに込めた思いや意図を他の生徒に説明する。また、自分にとっての泥、砂、石が何かを考え、グループで共有したり、プレゼンしたりする。</li> <li>速読しながら、True or False に答える。</li> </ul>
	期末 LESSON 3 It's Always Sunny in Space! ブレイクイングリッシュ 7-16	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入となる質問に答え、レッスンのトピックに関心や興味を持つ。</li> <li>語句の意味を理解し、発音できるようにする。</li> <li>本文の内容を理解する。</li> <li>「後置修飾」「現在完了形」の表現を理解する。</li> <li>宇宙開発のポジティブ、ネガティブな側面をグループで話し合い、話し合った内容を発表する。</li> <li>速読しながら、True or False に答える。</li> </ul>
後期	中間 LESSON 4 Malala : Fighting for Women's Rights ブレイクイングリッシュ 17-21	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入となる質問に答え、レッスンのトピックに関心や興味を持つ。</li> <li>語句の意味を理解し、発音できるようにする。</li> <li>本文の内容を理解する。</li> <li>「関係代名詞」「過去完了形」の表現を理解する。</li> <li>「教育が唯一の解決策である」という意見に対してどう考えるかを発表する。</li> <li>速読しながら、True or False に答える。</li> </ul>
	期末 LESSON 5 Mount Fuji ブレイクイングリッシュ 22-26	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入となる質問に答え、レッスンのトピックに関心や興味を持つ。</li> <li>語句の意味を理解し、発音できるようにする。</li> <li>本文の内容を理解する。</li> <li>「使役動詞」「節を導く形式主語 it」の表現を理解する。</li> <li>世界遺産について調べ、発表する。</li> <li>速読しながら、True or False に答える。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学んだ文法、語彙や表現などの用法や意味を理解している。 本文について、内容の要点を捉え、自分の考えや意見を簡単な語句や文を使用して、発信したりする技能を身に付けている。	本文の要点を捉えている。 学習した文法や語彙や表現、簡単な語句を用いて、相手を意識し、自分の考えや意見を伝え合ったり、発表したりする。理由や根拠を示しながら、文章が書ける。	本文を主体的に理解しようとする。 自分の考えを伝え合ったり、発表したり、理由や根拠を示しながら、まとまりのある文章を書こうとする。
<b>【評価方法】</b> 定期考査、様々な活動のパフォーマンス評価、提出物、授業態度、英検に向けて取り組む姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価する。		

令和6年度 シラバス (ビジネス基礎)

教科	商業	単位数	3	学年(年次)	1年
使用教科書	「ビジネス基礎」(実教出版)		副教材等	ビジネス基礎 準拠問題集 全商珠算・電卓実務検定模擬試験 問題集 各級	

1 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	商業の学習とビジネス ビジネスとコミュニケーション 経済と流通の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解する。</li> <li>・ビジネスにおける信頼関係の構築と対応について考え、活動できる力を身につける。</li> <li>・情報の重要性について理解し、情報活用について考える。</li> <li>・経済の仕組みと流通の必要性について理解する。</li> </ul>
	さまざまなビジネス 企業活動の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通や流通に関わる様々なビジネスについて学ぶ。</li> <li>・企業活動の形態と組織・マーケティングの重要性について学び、企業活動について課題を見つけ、対策を考える。</li> <li>・企業組織の一員として、役割を果たすことができる力を身につける。</li> </ul>
後期	ビジネスと売買取引	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売買取引、代金決済など取引に関する知識について学び、技術を習得する。</li> <li>・契約の締結と履行について実務に即して学び、対応策を考える。</li> </ul>
	ビジネス計算 身近な地域のビジネス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス計算に関する知識や技術を学び、正確に早く計算する力を身につける。</li> <li>・さまざまな地域の魅力と課題、地域ビジネスの動向について課題を見つけ、対応策を考える。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解して、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向・ビジネスに関する理論・データ・成功事例や改善に要する根拠に基づいて、工夫してよりよく解決することについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。

【評価方法】

定期考査、課題やレポート等の提出状況、授業中における学習態度、発表などの学習活動、検定試験へ向けた取り組み姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。

令和6年度 シラバス（情報処理）

教科	商業	単位数	3	学年（年次）	1年
使用教科書	「情報処理」（東京法令出版）		副教材等	全商情報処理検定模擬試験問題集3級 全商ビジネス文書実務検定模擬試験 問題集3級	

1 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	中間 企業活動と情報処理 ・ビジネスと情報 ・コミュニケーションと情報デザイン ・情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報処理に関する基本的な知識を身につける。</li> <li>コンピュータの基本操作を身につけ、正しい姿勢でのタイピングを習得する。</li> <li>情報を扱う者としての役割と責任について理解を深める。</li> </ul>
	期末 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク ・コンピュータシステムの概要 ・情報通信ネットワークのしくみと構成 ・情報通信ネットワークの活用 ・情報セキュリティの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの基本操作を身につけ、伝えたい内容を適切に表現する方法を習得する。</li> <li>コンピュータの基本的な機能と構成について学ぶ。</li> <li>ネットワークの役割やインターネットの仕組みを学ぶ。</li> <li>情報とビジネスとの関連について基本的な知識を身につける。</li> </ul>
後期	中間 ビジネス文書の作成 ・文章の表現 ・文書作成ソフトウェアの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネス文書の役割と構成を理解する。</li> <li>文書作成ソフトの基本操作を身につける。</li> <li>ビジネス文書の作成方法を習得する。</li> </ul>
	期末 情報の集計と分析 ・ビジネスと分析 ・表・グラフの作成と表計算ソフトウェアの特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフトウェアの基本操作を身につける。</li> <li>基礎的な関数やグラフの作成方法を習得し、伝えたいことを表現する方法について理解を深める。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ビジネスにおいて役立てることができる情報を収集・処理・分析・表現するための知識や技術を身に付けている。	情報を扱うための知識や技術を活用して、情報に関する課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けている。	組織の一員として自己の役割を認識し、情報に関する知識や技術を活用して、共同して課題を解決していこうとする態度を身に付けている。
<p><b>【評価方法】</b> 定期考査、実習を含む課題の提出状況、授業中における学習態度、発表などの学習活動、検定試験へ向けた取り組み姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		